

81. 自然文化を深める科

【火曜日 授業予定表】 講師：中瀬重幸、増田 昇、植松千代美 ほか

				午 前			午 後		
回	月	日	曜日	講義数	テーマ	内容	講師名	テーマ	内容
		8	月		●入学式&オリエンテーション(合同、大阪国際会議場)				
1	4	16	火	1	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明		中瀬重幸(森林インストラクター/みのお森の学校長)	森とは何か	樹木と植物/植物遷移
2		23	火	2	森の果たす役割	森林の多面的機能/森の恵み	中瀬重幸	合同オリエンテーション・特別教材勉強会(午前・午後グループ別)	
3	5	7	火	3	●大阪の自然にふれる	新緑の箕面へ	箕面ボランティアガイド	自主活動	
4		14	火	4	大阪の森林と都市のみどり①	人と自然の係わり合いの歴史/みどりに求められる役割	増田 昇(大阪府立大学名誉教授/植物工場研究センター長)	”	(グループ分け)
5		21	火		●遠 足 (1) (能勢妙見山/林業遺産台場のくぬぎ/棚田等 予定)				
6		28	火	5	大阪の森林と都市のみどり②	周辺3山系(森林)の現状と再生/都市部のみどりの風景づくり	増田 昇	自主活動	
7	6	4	火	6	●大阪湾の自然にふれる	大阪湾に残る自然海岸「豊国崎」にて自然観察(干潮13:28/-1cm)	鍋島靖信(大阪市立自然史博物館外来研究員/友の会会長)	午前の続き府農水研水産技術センター見学	水産技術C/栽培漁業Cにて稚魚等の観察
8		11	火		社会への参加活動(準備活動)(過去の活動事例研究)				
9		18	火	7	●人の生活と植物のかかわり	都市緑化型では国内屈指の植物園で講座と見学	魚住 智子(宇治市植物公園園長)	10ヘクタールの宇治市植物公園で自然観察会	植物園学芸員の案内で
10		25	火	8	山門水源の森の移り変わり	氷河期から続く琵琶湖の水源/放置された水源の森で保全活動30年	藤本秀弘(山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会理事)	自主活動	●新里山・希望の壁探訪(調整中)
11	7	2	火	9	生物多様性って何?	知っているようで知らない生物多様性生物の恵みと私たちの暮らし	近藤美麻(農学博士/生物多様性センター副主査)	”	●「十三干潟」(班自主活動) (干潮12:44/8cm)
12		9	火	10	高大白熱教室		中瀬重幸	”	
13		16	火	11	森に棲む生きものたち	市民参加型の観察会の事例から近郊の森に棲む生きものたち	近藤 万里 (NPOvitaring代表/箕面山麓保全委員会副代表)	”	
14		23	火	12	淀川の歴史と自然環境の変化	淀川河口域の変化と自然。水辺や干潟に棲む生きものたち	河合典彦 (国交省淀川環境委員会委員)	”	
		8			夏 休 み				
15	9	3	火	13	都市と森の共生をめざす	都市と森の共生のために森の植物園が果たす役割	植松千代美(大阪市立大学大学院理学研究科准教授)	自主活動	
16		10	火	14	●森の植物園で自然観察講座	神戸市立森林植物園名物職員さんの座学と植物園内自然観察	福本 市好(神戸市立森林植物園)	自主活動	142.6ha、1200植栽樹種の植物園内を散策
17		17	火	15	住吉っさん膝栗毛-大社領域における農業文化誌-	遠里小野の油、お田植神事と人々の関わりや昔の住吉界隈農業事情	森下 正博 (農学博士/なにわ伝統野菜応援団員)	自主活動	●住吉っさん探訪
18		24	火		●社会への参加活動(日程変更可)				
19	10	1	火	16	●チリメンモンスターとは	体験講座とさしわだ自然資料館見学	風間美穂(自然資料館主任学芸員)田中正視(アドバイザー)	紀州街道/だんじり資料館/岸和田城を歩く	岸和田ボランティアガイド
20		8	火		●スポーツ交流大会(名称要検討) 10/8(火)~10/11(金)調整中				
21		15	火	17	●毛馬開門/蕪村生誕の地・句碑/イタセンパラ記念碑等探訪	午前合同自主活動	河合典彦	●淀川城北ワンド付近での自然観察会	淀川の自然と植物や城北ワンド観察
22		29	火	18	●国史跡「多田銀銅山遺跡」探訪	平安時代から採掘が始まり1973年に閉山された銀銅山遺跡を歩く	猪名川町ボランティアガイド	午前の続き	
23	11	5	火		●遠 足 (2)				
24		12	火	19	里山保全について考える	里山とは/里山植生/保全の実態	中瀬重幸	自主活動	高大祭準備
25		19	火	20	都市のみどり「路傍樹」の不思議!	道路上にその昔から大地に根を張り続けている老木・樹木の何故	上甫木昭春 (大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授)	”	高大祭準備
26		28	木		●高大祭(名称要検討) 11/26(火)~11/29(金)調整中				
27	12	3	火	21	●里山保全地区探訪	北摂の里山で保全体験も	中瀬重幸	自主活動	紅葉樹林探訪(班自主活動)
28		10	火	22	自然工作教室	自然の素材でリース等づくり	高田七重 (NPO法人自然と緑副理事長他)	”	
29		17	火	23	大阪農業となにわの伝統野菜	難波葱が認証され18品目となったなにわ伝統野菜と大阪農業変遷	山崎基嘉(地独法環農水研食の安全研究部主任研究員)	”	
30	1	7	火	24	温暖化と大阪湾生物相の変化	地球温暖化で水温が上がりイカナゴやアナゴは取れなくなる?	鍋島靖信	”	(修了後の活動の場①後半)
31		14	火	25	高大白熱教室		中瀬重幸	”	
32		21	火	26	大阪の自然を大切に	大正12天然記念物指定和泉葛城山ブナ林など身近な自然を楽しむ	田中正視 (和泉葛城ブナ林委員/府自然環境保全指導員)	”	
33		28	火		●社会への参加活動(日程変更可)				
34	2	4	火	27	昆虫の性の不思議!	なぜオスとメスがいるのか哺乳類、昆虫、植物のオスとメスの駆け引き	樺 宜高(京都大学元教授)	自主活動	
35		18	火	28	●春に先駆けて咲く梅の観察	大阪市立大学理学部附属植物園で自然観察講座	植松千代美	午前の続き	早春の大阪市立大学理学部附属植物園を歩く
36		25	火	29	世界の中の日本の自然	世界を歩いて感じる日本の自然	中瀬重幸	自主活動	成果発表会準備
37	3	3	火	30	さくらの歴史と日本人	少し時期は早いさくらの語源やさくらと日本人の関わり	伊藤孝美(さくら研究家/樹木医/造幣局通り抜け桜樹管理指導者)	自主活動	成果発表会準備
38		10	火		●修学旅行(1泊2日)				
39		11	水						
40		17	火	31	学習成果発表会/修了式				
					授 業(白熱教室、成果発表会含む)		31	自主活動	28
					学 習 事 業		10		
					合 計		41		

作成日:2018.10.21

注1) 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。

注2) 修了後の活動の場は1回のみです。

●印は校外(教室不要)